

第18回

全国市議会議長会 研究フォーラム



統一地方選挙の検証と地方議会の課題

◆ 主催者挨拶



全国市議会議長会会長
神戸市会議長
坊 恭寿 ぼう やすなが

第18回全国市議会議長会研究フォーラムを、ここ北九州市において開催いたしましたところ、多数のご参加をいただき厚く御礼申し上げます。

本フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する課題や今後の議会のあり方について意見交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めることを目的としております。

近年、地方議会は議員の性別や年齢構成の偏り、なり手不足の深刻化、議会への関心の低下などの厳しい課題に直面しています。昨年12月には地方自治法の一部改正により議員の兼業規制の緩和などが図られ、また、本年4月には同法の一部改正により、地方議会の役割及び議員の職務等が法律上明確化されるなど、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進められていますが、まだまだ十分とは言えず、今後のさらなる取り組みが求められているところです。

そこで今回は、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」をテーマとし、統一地方選挙の結果を徹底的に検証し、改めて地方議会の課題を整理した上で、その解決に向けた今後の方向性を展望します。

有識者の方々のご参加いただいた皆様方により活発な議論が交わされ、実りある成果が得られますとともに、今後の活動の一助となることを祈念いたします。

◆ プログラム

■ 第1日目 10月25日(水) [会場:西日本総合展示場 新館]

11:30	開場・受付
13:00	開会式
13:20	基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」 片山 善博 大正大学教授兼地域構想研究所長
14:20	休憩
14:40	パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 コーディネーター 谷 隆徳 日本経済新聞社編集委員 パネリスト 勢一 智子 西南学院大学法学部教授 辻 陽 近畿大学法学部教授 濱田 真里 Stand by Women代表 女性議員のハラスメント相談センター共同代表 田仲 常郎 北九州市議会議長
16:40	次期開催地挨拶
16:50	終了
17:15	意見交換会 [リーガロイヤルホテル小倉 4階「ロイヤルホール」]
18:15	意見交換会終了
18:30	視察Ⅱ

■ 第2日目 10月26日(木) [会場:西日本総合展示場 新館]

8:15	開場
9:00	課題討議 「議員のなり手不足問題への取組報告」 コーディネーター 江藤 俊昭 大正大学社会共生物学部公共政策学科 事例報告者 辻 弘之 登別市議会議長 たぞえ 麻友 一般社団法人WOMAN SHIFT理事 目黒区議会議長 永野 慶一郎 枕崎市議会議長
11:00	閉会式
11:30	視察Ⅲ

※10月24日(火) 視察Ⅰ

◆ 基調講演



講師
片山 善博 かたやま よしひろ
大正大学教授兼地域構想研究所長

1951年岡山市生まれ。1974年 東京大学法学部卒業、自治省入省。国税庁能代税務署長、自治省国際交流企画官、自治省固定資産税課長などを経て、1999年 鳥取県知事。2007年 慶應義塾大学教授。2010年 総務大臣。2017年 早稲田大学大学院教授。2022年 大正大学教授兼地域構想研究所長。併せて、鳥取大学客員教授、デジタル文化財創出機構理事、角川文化振興財団評議員などを務める。【主な著書】「知事の真髄」/2020(文藝春秋)、「片山善博の自治体自立塾」/2015(日本経済新聞出版社)など。

◆ パネルディスカッション



コーディネーター
谷 隆徳 たに たかひろ
日本経済新聞社編集委員

1961年東京生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。2005年から地方部編集委員、06年から13年間論説委員を兼務。現在は編集局編集委員。総務省、国土交通省、都庁などを担当し、地方行政全般のほか、地方分権、まちづくり、都市政策などを長年取材。全国知事会地方分権研究会委員、総務省過疎地域優良表彰制度審査委員などを歴任。共著に「列島破産」「さらば東京」「住民サービスここが一番」(ともに日本経済新聞社)など。現在、自治体向け雑誌「日経グローバル」で「地方自治を考える」を連載中。



パネリスト
勢一 智子 せいいち ともこ
西南学院大学法学部教授

山口県下関市出身。1998年3月九州大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学、同年4月に西南学院大学法学部専任講師に着任、同助教授を経て、2007年より現職。専門分野は、行政法、環境法、地方自治法。国の審議会等では、第31・32次地方制度調査委員会、地方分権改革有識者会議議員、同提案募集検討専門部会構成員、同計画策定ワーキンググループ座長、国地方係争処理委員会委員、地方公共団体金融機構経営審議委員、中央環境審議会委員などを務める。



パネリスト
辻 陽 つじ あきら
近畿大学法学部教授

1977年大阪府生まれ。京都大学大学院法学研究科博士後期課程退学。博士(法学)。近畿大学法学部講師、准教授を経て、2016年4月より現職。専門は政治学、行政学、地方自治論。特に地方議会と首長をめぐる政治制度に強い関心をもつ。著書に「日本の地方議会―都市のジレンマ、消滅危機の町村」(中公新書、2019年)、「戦後日本地方政治史論―二元代表制の立体的分析」(木鐸社、2015年)、共著書に「テキストブック地方自治(第3版)」(東洋経済新報社、2021年)など。



パネリスト
濱田 真里 はまだ まり
Stand by Women代表/女性議員のハラスメント相談センター共同代表

専門は議員に対するハラスメント。2021年に女性による女性議員・候補者の選挙サポートを行う団体 Stand by Womenを設立。これまでに100人以上の議員や候補者に対するハラスメントのヒアリングや相談対応を実施。内閣府「令和3年度政治分野におけるハラスメント防止研修教材」等の作成に関する検討会構成員。2022年に子育て中の立候補をサポートする「こそだて選挙ハック!プロジェクト」を始動。2023年に4月の統一地方選挙に向けて日本初の議員向け相談窓口「女性議員のハラスメント相談センター」を設立。



パネリスト
田仲 常郎 たなか つねお
北九州市議会議長

1966年生まれ。北九州市立大学地域創生学群地域創生学類卒業。平成21年2月から北九州市議会議員を務め、連続4回当選。現在4期目。その間、総務財政委員会委員長、議会運営委員会委員長を歴任。令和5年10月から、第24代北九州市議会議長に就任。議員活動の傍ら、NPO法人則松金山川コスモス会理事長(平成31年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞)、八幡西地区柔道連盟理事、北九州市花咲く街かどづくり推進協議会副会長、北九州市なごなた連盟会長、保護司など、ボランティア活動や青少年育成を行っている。

◆ 課題討議



コーディネーター
江藤 俊昭 えとう としあき
大正大学社会共生物学部 公共政策学科教授

中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学、博士(政治学)。第29次・第30次地方制度調査会委員、「町村議会のあり方に関する研究会」委員(総務省)、全国町村議会議長会「議員報酬等のあり方に関する研究会」委員長、全国市議会議長会90年史編纂委員会「有識者会議座長、等を歴任。現在、マニフェスト大賞審査委員、全国町村議会議長会「町村議会議長のなり手不足対策検討会」委員、議会サポーター・アドバイザー(滝沢市、四日市ほか多数)。「月刊 ガバナンス」などで連載中。



事例報告者
辻 弘之 つじ ひろし
登別市議会議長

1981年生。大阪府豊中市出身。北海道大学公共政策大学院修了。社会福祉士・精神保健福祉士・社会教育士・防災士。阪神淡路大震災での被災経験から社会福祉の道を志し、北海道登別市内にて医療ソーシャルワーカーとして就職。公的扶助の運用課題の解決を目指し、26歳で初当選。現在5期目。各委員長、監査委員等を歴任し、議長として早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革ランキング全国1位に導く。2023年統一地方選挙後、議長に再任。



事例報告者
たぞえ 麻友 たぞえ まゆ
一般社団法人WOMAN SHIFT理事/目黒区議会議員

1982年東京都目黒区生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。在学中にヨハネスブルグサミットに参加。経営コンサルティング会社に在職中に3人の子どもを出産。保育園問題やマミートラックに悩む。2015年、実母の末期がん発覚を契機に、退職と出馬を決意。目黒区議会議員選挙に出馬。当選。WOMAN SHIFTの立ち上げから参画し、現在は理事。2023年、三度目の当選。現在は子育て支援、教育、DX、環境などの政策を展開。児童虐待問題については共著「子どもの虐待はなくせる!」を出版。



事例報告者
永野 慶一郎 ながの けいいちろう
枕崎市議会議長

1971年12月生まれ。鹿児島市立鹿児島商業高校を卒業。2013年度枕崎商工会議所青年部会長、鹿児島県商工会議所青年部連合会副会長。イベントの企画・運営やまちづくり事業に携わり、2015年4月市議会議員選挙において初当選。以来連続3回当選。現在3期目。2019年5月から総務文教委員長、2021年5月第46代枕崎市議会議長に就任。改選を経て2023年5月第47代枕崎市議会議長に再任。「無投票・定数割れからいかに回復するか 無投票選挙の克服をめざした4年の歩み」地方議会人2022年12月号。

